

メンタリングをコラボレーションで行くように 社会性が身に付く。 この学生パワーが学生を成長させる

大学の教養教育で、「考え抜く力」「チームで働く力」を養い、学生達を専門教育に送り出していたのが、平成22年3月まで弘前大学で教育学や津軽学を教えていた土持法一教授です（現在は帝京大学教授）。土持教授の授業の特徴は、能動的、主体的な学習を導く授業スタイルにあります。学生が自ら「考え抜く力」を付けるために、準備学習を徹底させる仕掛けを用意し、授業はグループ討論を中心とし、「チームで働く力」を養います。そして学習の振り返り（省察）をさせることで、主体的な学習力を高めさせています。ここでは先生の授業の秘訣を、先生の発言に沿って紹介します。

図書館で予習させる仕掛けを作り、大学の知的インフラに慣れさせる

「私は大学の先生の仕事は、知識を教えることにあるのではないと思います。学生達が学習に積極的になれる仕掛けを作り、きっかけを与えて、後は本人が自分で学習を行うのです。私達教員にはそれしかできないのです。」

私の授業は、学生達の予習から始まります。私はあらかじめ学生達に、シラバスを通じて、

ある日のシラバス

12月17日 日米大学の比較（その3） 大学と社会について

○課題

アメリカでは、卒業式のことを **Commencement** と呼ぶ。これは「終わり」ではなく「始まり」という意味であるように、「卒業」の考え方には日米間で違いがある。

○授業の到達目標

- 1) 「卒業」についての考え方の違いを理解する。
- 2) 「平等」についての考え方の違いを理解する。

○授業内容

アメリカでは、卒業式のことを **Commencement** と呼びます。これは「終わり」ではなく「始まり」という意味です。「卒業」の考え方には、日米間で顕著な違いがあり、それは卒業後の生涯学習という考え方にも反映されています。日本では、大学で学んだことが社会に還元されないことが、学生の学習意欲を削ぐ原因となっています。企業も大学教育を十分に評価せず、企業内教育を行うなど、大学と社会の連携が円滑でないことが指摘されます。アメリカにおける大学と地域社会の連携を通して日本の現状について考えます。

前述のように、中央教育審議会『我が国の高等教育の将来像（答申）』では、大学の社会貢献（地域社会・経済社会・国際社会等、広い意味での社会全体の発展への寄与）が強調され、それを「第三の使命」と位置づけています。これは、本学の「世界に発信し、地域と共に創造する、弘前大学」のスローガンにも繋がります。2006年から新しいカリキュラム「津軽学－歴史と文化」が始まりました。

○討議課題

- 1) アメリカでは、生涯学習のことを「継続学習」とも呼びます。日本でも「生涯教育」から「生涯学習」に変わったが、これは何を意味しているのか。
- 2) ボイヤーは、大学は「継続学習」のためにどのような機関でなければならないと述べているか。
- 3) なぜ、大学や社会還元あるいは地域貢献をしなければならないのか。
- 4) 南フロリダ大学には、高齢者を対象に生涯学習のプログラムがあり、博士学位も授与されている。

○指定図書

アーネスト・L・ボイヤー著／喜多村和之他訳『アメリカの大学カレッジ－大学教育改革への提言』（玉川大学出版部、1996年）「Ⅶ 大学から社会へ」17章と18章

○指定図書課題

- 1) 大学は「継続学習」のために、どのような機関でなければならないと述べていますか。なぜですか。
- 2) なぜ、社会貢献を重視するのですか。どのような人間形成を目指していますか。

資料提供 弘前大学 土持法一教授

指定図書課題クイズ(スクラッチクイズ) (抜粋)

- アメリカのリベラルアーツ・カレッジにおける入学志願者選抜で考慮される優先権(レガシー)とは次のどれですか。
 - (A) スポーツに優れている
 - (B) 親族内に同じ大学で学んだ者がいる。
 - (C) 社会奉仕活動をしている
 - (D) 大学に知人がいる
- アメリカの大学選抜で最も大きな影響を与えた人物は次の誰ですか。
 - (A) 教師
 - (B) 両親
 - (C) カウンセラー
 - (D) 友人
- 大学における「リテンション・レート」とは次のどれのことですか。
 - (A) 在学継続率
 - (B) GPA率
 - (C) 授業料
 - (D) 就職率

資料提供 弘前大学 土持法一教授

そのよさは、グループで回答しなければいけないということ。個別で回答したら、スクラッチクイズは意味が半減するのです。グループで話し合っ、それが正しいか考えていく。その様子がコラボレーションです。いろいろ議論して、最終的にグループの責任で選びます。そうすることで、同じ目線で議論に入っているのです。

学生は、指定図書課題の他にも、その日に討論される議題についてもあらかじめ考えてきます。議題はシラバスに載っているもので、授業で何が話し合われるかわかっています。その場で議題を決めていきなり話し合っのではなく、予習して自分で考えてから話し合っているのです。より議論が盛り上がり、学生は言います。あらかじめ考えてくると授業で発言したくなるので、授業に出ようという気持ちが強くなります。

そのためすぐにグループワークが始まります。学生は調べてきた考えを持ち寄り、議論をします。課題をしてこなかった人は討論の輪に入れません。これはけっこう、こたえます。

授業はスクラッチゲームで始まるグループワーク

「私は予習に基づいたスクラッチクイズで授業を始めます。コインで削って答を選ぶもの、お楽しみゲームです。課題をきちんとやってくれば解けますが、そうできないとできません。スクラッチクイズは授業内容への導入です。単にウォーミングアップをするのではなく、楽しみながら、もうその日の授業の中身に入っているのです。

スクラッチクイズのシート

IMMEDIATE FEEDBACK ASSESSMENT TECHNIQUE (IF AT®)

Name _____ Test # _____

Subject _____ Total _____

SCRATCH OFF COVERING TO EXPOSE ANSWER

	A	B	C	D	Score
1.					___
2.					___
3.					___
4.					___
5.					___
6.					___
7.					___
8.					___
9.					___
10.					___
11.					___
12.					___
13.					___
14.					___
15.					___
16.					___
17.					___
18.					___
19.					___
20.					___
21.					___
22.					___
23.					___
24.					___
25.					___

©2008 Epstein Educational Enterprises, Inc. U.S. Patent No. 6,210,171 * Form# AG15

学生が作成した試験問題(一部)

- 1) 「学習ピラミッド」での「講義」の理解度は何%ですか。
- 2) アメリカの大学では、シラバスは学生とどのような関係にあると考えられますか。
- 3) ソクラテス・メソッドの原則とは何ですか。
- 4) ボイヤーは学習とは何の過程だと述べていますか。
- 5) GPAは何の略ですか。
- 6) 日本の大学では、教育と研究に加えて何が必要だと提言されていますか。
- 7) ハーバード・カレッジの一般教養教育において得られる「6つの資質」とは何ですか。
- 8) 「プロフェッサー症候群」とは何のことですか。
- 9) ミネソタ大学総長が新入生にプレゼントしたものは何でしたか。
- 10) 能動的学習を英語で何と呼びますか。
- 11) アメリカの大学では、生涯学習のことを何と呼んでいますか。
- 12) シラキュース大学「高大連携」の新しい形態を何と呼んでいますか。
- 13) 高校と大学の単位制の違いはどこにありますか。
- 14) F Dとは何の略ですか。
- 15) ハーバード・ロースクールでの双方向授業はどのような形式の授業と呼ばれますか。
- 16) ティーチング・ポートフォリオやラーニング・ポートフォリオで最も重要なことは、授業や学習について何をすることですか。
- 17) 自分の言葉で言い換える方法を、英語では何と呼びますか。
- 18) 学生が自ら試験問題を作成するのは、どの大学が推奨する方式ですか。
- 19) 奥井復太郎「新制大学への反省」の論文の出版は何ですか。
- 20) ボイヤーは、大学は「継続学習」のためにどのような機関でなければならないと述べていますか。

資料提供 弘前大学 土持法一教授

土持先生は、学生に常にクエスチョンマークを付けて本や授業に向かうことを促しています。答えを覚え込むのではなく、クエスチョンを付けて考え抜くことを誘いますが、学生は、問いを立てることができるようになり、「課題発見力」や「創造力」が養われ、試験問題すら作れるようになります。

1回の授業の流れ

学習内容	あらかじめ授業内容を提示	シラバスに詳細に記入
予習	指定図書課題2つ ↓ 図書館で学習 ↓ 考え抜く ↓ 自分なりの意見を持つ	①「スタンプ」 ⇒必然的に図書館に行くことに。 ②「クエスチョンマーク」 ⇒疑問符をつけて考える習慣を身に付ける。最終的には試験問題すら作る。
授業	スクラッチクイズ ↓ ↓ ↓ 先生のミニレクチャー ↓ グループごとに発表 ↓ グループ間でコメントを出し合う ↓ ↓ 互いの意見を認め合いながら検討 ↓ ↓ 内容が非常に深まる	③「スクラッチクイズ」(5分) ⇒グループで回答を討議。予習がないと討論に入れれないことがポイント。そのまま指定図書課題に入る(10分)。その日の内容のアウトラインを説明(5分)そのままグループ発表へ。 ④『私達』を主語に ⇒発話がしやすくなり、慣れていく。 ⑤「パラフレーズ」 ⇒相手の言葉を自分なりに言い換え。コメントがしやすくなり、慣れていく。 ⑥「コラボレーション」 ⇒相手の話を受け止めて深めていく。 ・5,6はクイズの後の討議でも行う。 ・グループ発表を巡るやりとりで残りの時間を全て使い切る。(70分)
復習	授業の振り返りを行う ↓ 振り返りの内容を文章にする ↓ ↓ 学習過程をファイルにまとめる	⑦「リフレクション」 ⇒省察を行い、内容を定着させる。 ⑧「ドキュメンテーション」 ⇒省察を文章化して、他の全ての文章と共に残す。 ⑨「ポートフォリオ」の下準備ができる。
予習	次の授業に向かう ↓ 予習のために図書館へ	⑩「シラバス」 ⇒授業内容の全てが書いてあるので、指示されなくても次に進める。

達は』と言えば、垣根が低くなるのです。こうすると、次のグループはより話しやすくなります。学生達は、どんどん自分で話し出しますよ！

土持先生は、授業を学生への質問と回答で進めますが、自分のグループを代表して、『私達は』と語ることを促しています。このことで学生が発言に積極的になり、慣れがで

き、自信が付いて、堂々と意見を述べ、他の学生を討論の中に引き込めるようになりま

す。「前に踏み出す力」、人に働きかけていく力が、養われていきます。

自分の言葉で語り、相手の話も受け止められるようになる「パラフレーズ」を訓練

「自分の意見を述べるときに重視しているのが、パラフレーズ(言い換

今の学生は先生のプレッシャーなど、何とも思っていないのです。宿題をしてこなくても平気なのです。しかしこの授業の場合は、宿題をしてこなかったら、グループに迷惑がかかるし、自分が討論の輪から外れてしまつ。そうするとすぐくプライドが傷つけられるのです。だから同じ世代の人と協働させるのが大事なのです。学生は隣の学生を、一番、気にしているのです」

土持先生は、授業を課題に基づいたスクラッチクイズから始めます。しかもグループワークで始めるので、課題をしてこないと、討論の輪に入れません。同世代の輪の中で、一緒に学びたいという思いへの刺激が、事前準備に取り組み積極性や、授業参加への意欲を引き出し、「主体性」を養っています。

発表するときの主語は、必ず『私達』

「グループで話し合ったことの発表で、授業を進めます。学生達にいろいろと語ってもらい、他のグループにコメントをしてもらいます。私も質問をします。質問と回答の連続です。

課題や到達目標、討論の議題まで提示してありますから、事前学習をしてきた学生は、たくさん語る内容を持っているのです。でもただそれだけでは、なかなか手を挙げて自分の意見をスラスラ言えるものではありません。そこで私は、ここでは『私達は』を主語に発言することを学生に求めます。初めに行ったグループ討議に基づいて、この問題は『私達は』こう考えましたと意見を述べてもらうのです。『私は』と発言すると、間違ってしまったら恥ずかしいという思いがあるし、自分の意見に自信がないと、手を挙げられなくなってしまいます。でも『私

え』です。相手の話に耳を傾けて、自分の言葉で言い直すことです。指定図書課題でも、ノートに抜き書きをするのではダメです。必ず自分の言葉で語ってください、と学生に強調しています。グループで討論して、クラスの前で発表するときにも、皆の意見を自分の言葉でまとめるのです。

私は授業中に、学生にパッと意見を求めます。前の人と同じ答えを言わないようにいつも強調しています。だから、学生はうまいのです。たとえ自分と同じ考えでも、それを言わないで、すごく印象的だった言葉を使ってパラフレーズすることができるのです。

また、他のグループの意見に対してコメントするときも、パラフレーズが大切です。コメントは相手に敬意を表することですから、まずは相手が言ったことを受け止める必要があります。あなた達はどう言われましたね。それに対して私達はこう考えました、と入っていくのがパラフレーズです。特に相手の話に共感できない点を見つけたときも、『今、あなたがおっしゃったことにはとても驚きました。しかし私はそういう視点から考えていません…』と、相手の発言に触れた上で自分の意見を言うことが大事です。謙虚に受け止めて、的確にパラフレーズをすることが大事なのです。

このような訓練を積んでいくと、パッと話を振られたときにもコメントをすることができるようになります。これが大切です」

土持先生は、学生が意見をまとめたり、コメントしたりするときに、「パラフレーズ」を行うことを強調しています。相手の意見や発言を、自分の言葉で言い換えることから始めるのです。こうすると相手の意見をきちんと受け止めて、コメントを行う姿勢が身に付

きます。「傾聴力」や「発信力」、「チームで働く力」が養われていきます。

コラボレーションの中でメンタリングの力を育てる

パラフレーズをしながら討論をしていくと、コラボレーションが生まれてきます。これを育てることが大切です。コラボレーションとは私の授業に引き付けて言えば、グループ活動です。学生同士が同じ課題を勉強してきて、同じ土俵で意見を言っただけです。

コラボレーションの中で、メンタリングができるようになります。言いたいことは何ですか、どうしてそう考えるのですか、と相手から引き出したり、相手を導いたりしてあげるのです。メンタリングは、通常目上の人が目下の人にしますが、学生同士の間で、メンターの役を相互に担えるようになります。

社会に出たら、企業でいろいろな会議があります。ちゃんと会議のメモを読んできて、同じ土俵で議論をする。全く一緒ですよ。だからメンタリングをコラボレーションで行っていると、どんどん社会性が身に付くのです。この学生パワーこそが、学生達を成長させるのです。学生が自分で予習をしてきて、自分達で討論して、育っていくのです」

土持先生は、学生同士の討論をメンタリングやコラボレーションと名付け、それぞれの学生が互いにメンターとなって話ができるようになっていくことを促しています。このとき問われるのは、相手の立場を思いやることです。「柔軟性」や「情況把握力」なども養われていきます。

授業後には省察、学生同士で学んだことから定着

「授業は学生の討論で始まり、学生の討論で終わります。主役は常に学生です。でもこれで全てではなく、授業が終わったら、私は学生達に、授業の中で学んだものを振り返って、メモを書いてもらいます。これを省察(せいさつ)＝リフレクションと言います。

「ここで学生達が振り返るのは、コラボレーションして考えた内容です。皆と討論して、一緒になって結論を導き出していった過程を振り返るのです。メンタリングを通じて考えたことを書く。これがとても大事です。

これが私の言うところの深い学びなのです。アメリカではディープ・ラーニングと言います。表面的に知識習得したラーニングとは違います。単なるラーニングで得た内容はすぐに忘れてしまうのです。なぜならフックするものがないからです。知識は引っかかるものでなかったらすぐに忘れてしまいます。ディープ・ラーニングにはフックするものがあります。それを作っているのは仲間です。同僚です。これは学生達がやることで、私がやることではありません。」

土持先生は、討論によって成り立った授業を、後から学生に振り返らせ、文章を書かせています。これは授業後の課題としてあります。これによって学んだことの定着が図られていきます。学んだことがフックできるのは、仲間と一緒に考えたことだからです。これを通じ、授業の中で育成された「社会人基礎力」のあらゆる要素が自覚化されます。



平成19年度を受講した学生の「指定図書課題・学習への省察」シート

学習過程をファイルして残すドキュメンテーション

「省察を通じて学生は文章を書きますが、これをファイルして残していくことが重要です。予習した内容、授業で討論して深めた内容、これら全て挟み込んでいきます。どっという学びをしたのかの証拠資料をまとめるのです。これを、ドキュメンテーションと言います。ここまでくると、ポートフォリオができてきます。

ポートフォリオは、建築家が設計した内容を顧客のところに持って行って見せるファイルで、これを学習に応用したものが、ラーニング・ポートフォリオです。それは、これまで述べてきた学習の中から生まれてきます。学生同士の討論(コラボレーション)、省察(リフレクション)、文章に残すこと(ドキュメンテーション)の3つの要素から成り立ちます。三要素がきちんとファイルされていることが、ポイントです。全ての学習の過程を挟み込み、それをいつでもどこへでも持って行って、学習の軌跡を確認できるようにするわけです。ただし電子媒体を初めから使うと、ブログのようになってしまいかねないので、これは使わない方がいいと思っています。」

土持先生は、省察のために書いた文章や課題への取り組みを、学生がファイルしていくことを指示しています。半期の授業が終わるときには、一冊の学習記録ができています。これがポートフォリオとなります。この学習記録を振り返り、これを証拠資料とした最終的な学習の振り返り(A4サイズ2〜3ページ)を書きます。

ラーニング・ポートフォリオのファイルの頭につける
「最終的な学習の振り返り」の文章の観点(省察の観点)について

【土持先生のハンドアウト】
「最終的な学習の振り返り」
課題
 この授業での「到達目標」がどのように達成できたといえますか、省察的に(A4 約3頁、ワード文書)にまとめてください。また、「指定図書課題・学習への省察」を証拠資料として、ワーキング・ポートフォリオのフォルダーに綴じて、一緒に提出してください。自らのラーニング・ポートフォリオに主題と副題をつけることで全体のまとまりが良くなります。(備考：メールアドレスがある場合は、記載してください)
 採点基準については、ルーブリック(採点指針)(配布資料)を参照してください。
提出期限は2月9日(火)の補 この授業の到達目標に対し

授業の到達目標
 1) アメリカにおけるリベラルな教育についての理解を深めることができる。
 2) 日米の大学を比較して、両国における「教育と研究」の違いを理解することができる。
 3) 学習実践記録(ラーニング・ポートフォリオ)をまとめ、自らの学習過程をメタ的に「省察」することができる。

学習への省察 この学習への省察的観点で、自らのラーニング・ポートフォリオを振り返り、学習の成果やプロセスを振り返り、振り返りを行うと学習過程を省察して内容を深めることができます。
 1) この授業から何を学ぶことができましたか。あるいは、逆に学ぶことができませんでしたか。
 2) どのような状態で最も学ぶことができましたか。あるいは、逆に、学ぶことができませんでしたか。
 3) なぜ、学ぶことができましたか。あるいは、なぜ、学ぶことができませんでしたか。
 4) 学習者として何をどのように学びましたか。
 5) この授業は、他の授業や学習やこれからの人生にどのような繋がりがありましたか。
 6) この授業は、実践的な学習に役立ちましたか。
 7) この授業を楽しむことができましたか。それは、どのような意味においてですか。
 8) この授業をもう一度やり直すとしたら、学習を高めたり、向上したりするために何か違ったことをしますか。
 すべてに応える必要はありませんが、授業での学習過程を「省察」するうえで手助けになるはずです。

資料提供 弘前大学 土持法一教授

「到達目標」や「省察の観点」に社会人基礎力を科目の中で発揮させるような目標観点を
 入れれば、ポートフォリオ評価に社会人基礎力も含めることができる

◆「授業の到達目標」として加えることができる観点例
 ・学習計画を立てて、確実に実行することができる(主体性、計画力、実行力)

◆「学習への省察」として加えることができる観点例
 ・クラスメートから学べた点はどんな点ですか
 ・主体的な学びとは、あなたにとってどんな学びですか
 ・学習上の困難に突き当たったとき、あなたはどのような能力を行使して解決しましたか
 ・自分だけで取り組む勉強と比べて、この授業でのグループでの勉強スタイルから何を学びましたか
 ・クラスメートに対してサポートできた点は何ですか
 ・深い学びをするにあたって、課題発見力や創造力を行使しましたか、またどのように行
 使しましたか
 ・この授業でのグループでの学びの中で、傾聴力や発信力はどのように発揮されましたか
 ・この授業から学んだことで、自分についてきた能力は何ですか
 ・身についた能力をこれからどのように活用していきたいですか

成績評価

平常評価 70 点	ポートフォリオ 60 点
	出席 10 点
期末評価 30 点	期末試験(ポートフォリオ持ち込み可)

「これは、自分はどういう学習者なのか、あなたはどのような状況に置かれたときに、一番深い学びができましたか、と聞いているわけです。自問自答を繰り返し、考えさせていくところが大事です。15回分を振り返ると、あるときには学習が深くあるときには浅いという波がある、それがなぜなのか学生自身が振り返らなくてはいけない。プロセスを自分で振り返らせることで、自ら学習する能力が高まっていきます。そして、ポートフォリオというのは、学んだことをどう生かすか、学んだことを活用するためのものなのです」

評価については、ポートフォリオの場合、省察の全てに個人的反省が書かれているか、学生の進歩や目標到達を示す証拠資料が示されているか、などの項目に対して採点指標(ルーブリック)が出されており、学生にも配られています。学生には、採点指標を先に示し、そこに示された観点でポートフォリオができてきているか、確認させる意味があります。先生は、ポートフォリオを成績にまで反映させています(ポートフォリオ評価)が、「社会人基礎力」の育成を授業の中で意識して行つたとすれば、それをポートフォリオで評価することもできると思われれます。左図のように、「授業の到達目標」や「学習への省察」の観点として、「社会人基礎力」を授業内容に合わせてどう発揮や活用していたのかという観点を盛り込み、ポートフォリオを書かせることで、「社会人基礎力」の評価が可能になります。

ポートフォリオでも成績評価